

1 地域を維持する農作業の省力化

(1) 地域の現状(H27とR2の比較)

区分	販売農家戸数(戸)	R2/H27	1戸あたり			
			田面積(ha)	R2/H27	畑面積(ha)	R2/H27
R2	941	83%	9.38	110%	11.68	130%
H27	1,139		8.53		8.98	
R2-H27	-198		0.85		2.70	

農家戸数減少により、1戸あたりの経営面積が増加

(2) 地域における課題は？

水田・畑など、土地が
余剰化しているが誰か
作付けできるのか？

土地を増やして経営の
安定を図りたいが、労
働的に対応できない。

今の面積だけでも、年齢
が行くと厳しいので、誰
か作業を請け負ってくれ
ないかな？

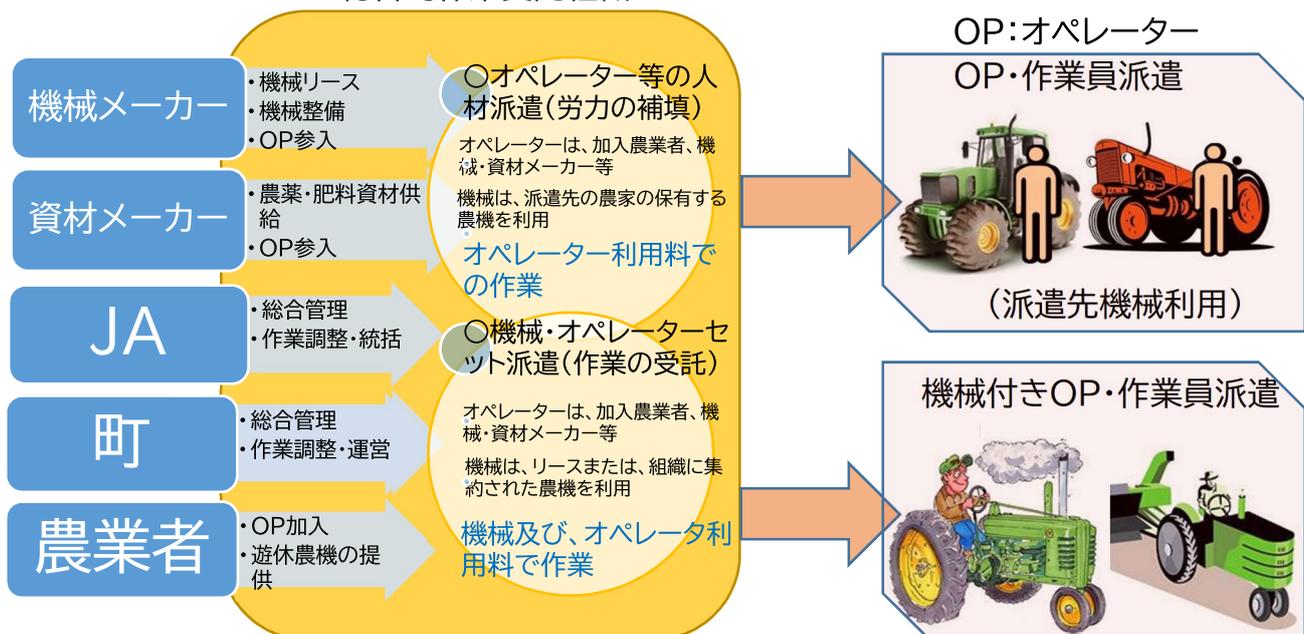
土地を増やしていきたいが、新たに作業機械
を装備するには金銭的
に厳しい。

土地は所有していきたい
のだが、高齢のため労
働力が無く、誰か作業
をやってくれば

そこで提案！！

(3) 農作業受委託システム提案

総合的作業受託組織



※作業人員の派遣は、シルバー人材の利用も。発展系として機械銀行的にスマート関連機械等を保有、利用も可能。

2 畑作物の生産力をあげる土づくり

(1) 地域の現状(H27~R1 畑作4品収量5か年平均値の全道比較) (kg/10a)

区分	小麦	ばれいしよ	大豆	てんさい
今金町平均	344	3,006	199	5,724
せたな町平均	289	3,098	162	5,490
平均	317 ↓	3,052 ↓	181 ↓	5,670 ↓
北海道平均	494	3,600	228	6,410

(2) 地域における課題は？

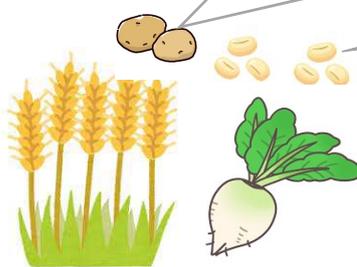
低収量となることが多く、収量の安定が図れず、低品質。

保肥力や保水力が悪化したのか、年々生産性が低下している。

畑の保有面積が右肩上がりで増えており、作付はしているが、正直、管理に手が回っていない。

大雨や干ばつの影響を受けやすい。

肥料をたくさん入れないと、収量確保が出来なくなっている。



そこで提案!!

(3) 緑肥利用による、地力の増進(肥料コスト低減)

ア どうしても作付をするのなら、せめて、秋まき小麦後(早期収穫作物後も含む)の緑肥を!!

表2 次作を考慮した小麦後作緑肥(早期収穫作物後も含む)

区分	ハイオーツ(インバク野生種)	まめ助(ハアリーベッチ)	キカラシ	ヒマワリ
最適次作物	豆類 てんさい ばれいしよ	てんさい ばれいしよ	てんさい ばれいしよ	豆類 てんさい
摘要	線虫抵抗性作物 小豆落葉病を抑制	窒素の減肥可能	てんさいの前作に最適	夏播き専用

イ 面積が増えて、どうせ手が回らないなら、緑肥にして畑を養成しよう!!

表1 次作に備えた休閑緑肥(5月から8月中~下旬)

次作予定	推奨緑肥	緑肥による効果	留意事項
小麦	ヒマワリ つちたろう(ソルゴー) ねまへらそう(スーダングラス)	○子実重の増加 ○カリ肥料の低減 ○保水力、排水性等の 土壌物理性改善	○ヒマワリは開花後1 ~2週間ですき込む ○ねまへらそうは、穂 ばらみ期にすき込む
てんさい	キカラシ まめ助(ハアリーベッチ)	○炭素率が低く、翌年 の窒素肥効が多い ○窒素減肥が可能	○窒素やカリの過剰と なり易いので、土壌分 析により、減肥を考慮 する
豆類	ハイオーツ(インバク野生種)	○「キタネグサレセンチ ユウ」や「小豆落葉病」を 軽減	○出穂後、早めにすき 込む ○2回連続の栽培が可 能
ばれいしよ	ハイオーツ(インバク野生種)	○「キタネグサレセンチ ユウ」「そうか病」の軽減 ○カリ肥料の低減	○土壌分析により、減 肥を考慮する

3 地域ブランドの創成

(1) 「今金町」「せたな町」って、どんな町(ネット検索から)

ア 今金町…今金男爵・軟白長ネギ・黒毛和牛・米

清らかな後志利別川が流れ、北海道らしい美しい田園風景が広がる町です。肥沃な土壌や豊かな自然の恩恵を受け、道南圏随一の「農業のまち」として知られています。日本一に輝いた清流・後志利別川が貫流する農業が盛んなまちです。豊かな自然に育まれた日本一の「今金男爵」をはじめとする食材の宝庫。

イ せたな町…ヤーコン・百合根・ホタテ・牡蠣・ジャガイモ・米・はちみつ・地酒・バター・アスパラ・アイス・ハム

北海道の南西部に位置し、北部に狩場山、南西部に日本海、中心部には清流日本一の一級河川後志利別川が流れる魅力あふれる町です。豊かな自然から生まれる四季折々の山海の幸が楽しめます。

※あまり、町のイメージが伝わりづらいが、今金町では GI 登録により「今金男爵」、せたな町は、映画の撮影（「そらのレストラン」）などで町の名前や名物、風景などが少しずつ広まっています。

(2) 「今金町」「せたな町」のブランド創成に係る課題は？

自然環境や食材など素材は多いが、PRしきれていない。

地元の人たちは、地元の食材や風景などは、当たり前のもの。

一次産業を体験できる機会、受け入れ場所が少ない。

映画などを利用した、体験や撮影場所巡りの企画が有ったのか無かったのか。



人を呼ぶ情報や場所、地元が受け入れる体制の整備が無いのか有るのか

そこで提案！！

(3) 名物を作ろう！！「檜山北部「男爵(じゃがいも)肉まんプロジェクト」～提案の一例～

○餡コンセプト
地元の牛肉や豚肉などを利用する。

○生地コンセプト
地元の小麦粉を利用し、生地に男爵いも(ジャガイモ)を蒸かしたものを練り込む。

○売りコンセプト
地元のイベント販売や飲食店、コンビニ等での販売とする。
冷蔵品のみで、冷凍商品は作らない。



※勝手なネーミング

今金町…「今金男爵ぎゅうっと肉まん」「いまかね男爵牛肉まん」
せたな町…「せたなじゃがポークまん」「せたな牛肉じゃがまん」